



賢く強い 「生命の勝利者」に

稲穂が重たい頭を揺らし、実りの秋の到来を告げている。田んぼには、額に汗して稲を刈る農家の人々の姿も見えた。

1994年（平成6年）10月、東京・あきる野市。池田名誉会長は、黄金色の穂波が広がる田園にレンズを向けた。

日蓮大聖人は、白米を供養した門下への書状

に「白米は白米にはあらず・すなはち命なり」（御書1597頁）と。「食」は、生命を育み、生きる力を高めてくれる掛け替えのない「宝」である。

収穫の秋、スポーツの秋、読書の秋——さわやかなこの季節を、心身の健康と成長へ、賢く知恵を発揮し、進みゆく一日一日としたい。

広布に走れば、
 戦い続ける生命へ
 人間革命していける。
 その生命は、常に、
 新鮮で、快活で、健康的である。
 広宣流布こそ、
 三世に生きる我々の、
 最大の生きがいであり、

健康法である。
 祈っているから大丈夫
 というのではなく、
 祈りが行動につながる時、
 初めて祈りは叶う。
 これが仏法の道理である。
 健康も、日々、



東京・創価学園の第1回「合同体育大会」で、綱を引く生徒たちにエールを送る創立者の池田名誉会長。「強き一念を忘れずに進めば、決して人生のレースに敗北することはない」と（1986年10月、東京・小平市で）

「強く祈り」
 「具体的にこまかな注意をする」
 — そうすることによって、
 現実に勝ち取っていける。

「張りのある勤行」を基本として、
 「絶対に健康になる」と
 一念を定め、
 一日一日、みずみずしい生命力で
 前進していくことだ。

人の何倍も忙しい
 使命の毎日だからこそ、
 聡明に無駄な時間を排して、
 上手に睡眠をとっていただきたい。
 自分が自分の名医となり、
 看護師となつて、
 油断なく体調を整え、
 教養ある食生活も
 心がけていきたい。

真の健康とは何か。
 それは、病気がない状態を
 言うのではない。
 信心根本に生き生きと
 価値創造の営みを
 続けられるかどうかである。
 戦う中に、真の色心の健康がある。
 何があっても絶対に負けない。
 あきらめない。屈しない。
 この人こそ、生命の勝利者である。
 真の健康・長寿の勇者なのである。